

◇◇ 近畿病院図書館協議会 ◇◇

平成19年度 第34回 総会 報告

日時：2008年3月28日（金）

13：00～14：50

会場：ペアーレ神戸

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記選出

議長：田中文字子（済生会兵庫県病院）

副議長：神山貴子（京都桂病院）

書記：大井陽子（耳原総合病院）

3 議案審議

1) 平成19年度活動報告

2) 平成19年度会計・監査報告

3) 平成20年度活動方針

4) 平成20年度事業計画

5) 平成20年度予算

6) 役員改選

7) 平成20年度会長・事務局長承認

（議案3）～7）は審議の結果承認された

閉会

総会員数：127機関（うち議決権123機関）

出席：28機関

委任状：85機関

合計：113機関（会員の2/3以上の数を
みだし総会成立）

議案Ⅰ．平成19年度活動報告

はじめに

平成19年度は昨年度に引き続き、近畿病院図書館協議会所蔵雑誌目録 Web 版（Kinki Webcat）

のメンテナンス事業を中心に活動を行った。幹事会は、若干入れ替わりがあり、新規に2名を加えた9名の幹事で会運営にあたった。今年度の活動を総括するならば、従来事業の継続に重点を置いた、組織内の充実を図った一年といえよう。

継続事業のうち教育研修活動では、定例の研修会を2回、新任むけの勉強会を1回行った。また昨年に引き続き、実習を伴う製本の勉強会も行った。

初めての試みとしては、3回シリーズの夜間勉強会を開催した。

昨年度、開催に至らなかった近畿地区医学図書館協議会、日本薬学図書館近畿・中国・四国地区協議会との協同開催によるシンポジウムも実現した。

第116回研修会は例年のごとく、2008年3月28日に第34回総会とともに「事例・研究報告会」として開催する。

出版広報活動では、会誌「病院図書館」27巻を定期刊行した。連載や報告記事のほか、各号ともユニークな特集を組んだ。ただ、発行状況としては遅れ気味で、年度にあわせた発行はできず、4号発行は4月以降になる予定である。

会誌については今年度メディカルオンラインへ登録することとし、著作権が当協議会に帰属している20巻から公開することになった。

当協議会ホームページについてはリニューアルが進み、今までよりも内容・見やすさなど、使いやすさを感じていただけるものとなったと自負している。今後も広報活動のツールとしてさらなる有効利用を目指したい。

医学文献情報活動では、昨年、Kinki Webcatの稼働を開始したが、不具合や修正の必要な箇所への対応などは、目録サポートチームが窓口となって作業にあたっている。会員へのアン

ケートを含めた広報をし、必要に応じて細かな対応を行っている。

今年度の統計調査は簡易調査の年に当たっていた。集計した報告書は会員へ配布する。

対外交流では、日本医学図書館協会とは総会分科会への参加、会員の文献相互貸借など従来どおり交流を深めた。その地区会である近畿地区医学図書館協議会とは地区例会へのオブザーバー出席、シンポジウムの共催などで交流している。また、日本病院ライブラリー協会や各地区の病院図書館ネットワークとは、それぞれ会誌交換や寄稿などの交流があった。

ライフサイエンス系図書館団体連絡会のワーキンググループ（健康医療情報サイトなどの活動）には、昨年同様、当協議会からも協力員1名を派遣した。ポータルサイトを立ち上げ、徐々にではあるが形あるものとなってきた。

今年度の研究助成金制度の活用には4題の継続研究の申請があった。ただし、そのうち1題は、研究は継続するが発表するまでには今年度は至らない見通しであるので、助成金は辞退している。研究成果については事例・研究報告会で発表する予定である。

I-1-1. 研修部

1. 活動報告

4回の勉強会、2回の研修会を開催した。今年度より会員の参加費は無料。会員外は従来どおり有料。

ILLマニュアルの会員向け無料配布は、今年度も継続した。

共催シンポジウム実行委員は、前年に引き続き研修部員が担当した。

(1) 研修企画

[第23回勉強会] (製本工場見学会)

日 程：2007年7月18日 (水)

場 所：ナカバヤシ兵庫工場

参加者：5名

[第24回勉強会] (新任者研修会)

日 程：2007年7月28日 (土)

場 所：神戸赤十字病院

プログラム：

1. 協議会について

事務局 林 伴子 (社神病)

2. KinkiWebcat の基本操作

目録サポートチーム 藤原純子 (音羽病)

3. 図書整理の流れ

研修部 田中律子 (大滋慶)

4. ILLによる「文献取り寄せ」について

研修部 中村雅子 (阪府母)

5. 参加者交流会

参加者：20名

[第114回研修会]

日 程：2007年8月23日 (木)

場 所：大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー専門学校

テーマ：Web情報源の歩き方—それぞれの一步をここからはじめよう—

プログラム：

1. オンラインジャーナルの登録方法

HighWire編

中村雅子 (阪府母)

2. 初心者のための PubMed の使い方

講義と実習

松本純子 (住友)

3. 書誌事項確認のための文献検索

—JDream II を使って

首藤晶子 (JST)

4. 文献検索指導をするためのコツ

—JDream II を使って

黒田明子 (JST)

5. Web情報源に関する用語解説

橋本 剛 (ユサコ)

6. 臨床工学技士のための図書館活用術

大阪大学医学部附属病院

MEサービス部 楠本繁崇

参加者：26名 (うち会員外1名)

[第25回勉強会] (本の補修講習会)

日 程：2007年9月29日 (土)

場 所：洛和会音羽病院

内 容：製本の基礎と本の補修

講 師：藤原 孝

参加者：12名

[第26回勉強会] (ホームページ作成講習会)

日 程：1回 2007年11月21日 (水)

2回 2007年12月19日 (水)

3回 2008年 1月16日 (水)

時 間：19：00～21：00

場 所：大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー
専門学校

内 容：HTMLによるホームページ作成

講 師：渡邊弘子 (有限会社マイスター・ラ
ボラトリー)

参加者：21名

[第115回研修会]

日 程：2007年12月7日 (金)

場 所：関西労災病院

テーマ：デジタルメディアを駆使し、より高
品質の病院図書館機能をめざそう

プログラム：

1. 電子出版の現状と課題
 夙川学院短期大学 湯浅俊彦
2. Googleについて
 京都学園大学 高橋和子
3. 図書館パスファインダー
 愛知医科大学医学情報センター (図書館)
 市川美智子
4. 賢い医師・患者育成の場としての病院
 図書館：皮膚科医からの提言
 関西労災病院 幸野 健

参加者：27名

[2007年(平成19年)度NPO日本医学図書館協
会 近畿地区会/日本薬学図書館協議会 近畿・
中国・四国地区会/近畿病院図書室協議会 共
催シンポジウム]

プログラム：

1. 電子ジャーナルの管理と運用について
 株式会社紀伊國屋書店 青木 均
 株式会社紀伊國屋書店 小室謙吾
2. 電子ジャーナル導入の図書館業務への

影響—特にILLの観点から—

神戸大学附属図書館医学分館 鳥谷和世
中村雅子 (阪府母)

京都府立医科大学附属図書館 山下ユミ

3. 施設見学

- ・神戸学院大学ポートアイランドキャン
パス図書館
- ・神戸夙川学院大学図書館
- ・兵庫医療大学図書館

当協議会会員の参加者：23名

(2) 研修部会議

第1回 2007年 6月 9日 (土) 大阪 3名

第2回 2007年 8月23日 (木) 大阪 3名

第3回 2007年11月 9日 (金) 神戸 3名

今年度幹事の中村雅子 (阪府母) が研修部長
を担当した。前年度に引き続き、4名の研修部
員に新たに2名が加わり、計6名で活動した。参
集形式での会議は、部員全員の参加は実現しな
かったが、メールでの意見交換で意思疎通を図
る努力を続けた。

研修企画としては、2回の通常研修会と、5～
10名程度の小規模勉強会を、月1回程度開催す
る方針とした。初秋頃には、研修部としては、
初めての試みとなる夜の勉強会を複数回開催し
ていこうと、新規提案された。

(3) 勉強会

第23回は、見学先が遠方で、往復交通費がか
さむことを理由に、参加を見合わせた会員もい
たのではないかと思う。「見学会」企画は相手
方との調整もあるので、次の機会には早めに着
手していきたい。

第24回は、新規入会施設の担当者と新任担当
者を対象としたが、通常研修会に匹敵する参加
申し込みがあった。会場にゆとりがあったため
予定どおり開催したが、新任者研修という性格
上、少人数での手取り足取り指導が望ましい。
定員制にして、同内容の新任者研修を複数回開
催する必要があるであろう。

第25回は、製本実習シリーズの2回目である。
習得進度が異なるため、こちらも複数回開催が

望ましい。

第26回は、夜7時から9時までという異例の夜間開催であったが、好評であった。今後も継続していく。

(4) 研修会

第114回は、インターネットに接続されたひとり一台のパソコンという恵まれた環境下で開催した。実習と講義を組み合わせ、Web情報源をもっと身近に実感できたと思う。オンラインジャーナル登録手順のはじめの一步を手にし、Web用語への理解が深まった。

第115回は、前回のWeb情報源テーマの延長線上にあり、図書館業務の枠を超えて俯瞰的な観点から考察する機会を得られた。多彩な講師陣を迎えての開催であったが、参加者数がふるわなかった。会員特典を生かしていただけず、単純に「もったいない」ことと、残念である。

2. 活動総括

今年度より勉強会・研修会参加費は、無料となった。より多くの会員に研修機会を活用していただきたいとの趣旨である。計6回の催しの参加者実数は、会員54名、賛助会員8名である。年間を通してどの回にも参加していない施設が大半であることを、研修部としては、深刻な問題として受け止めている。封書による文書配布のほかに、はがき、KHLAホームページへの掲載など、開催情報の周知を徹底していきたい。会員施設のIT環境が整いつつある中、メール機能を活用した広報の必要性を感じる。

また、編集部活動との連携には、企画の早い段階から力を入れていきたい。会場で「今回のような企画を待っていました」との声を、直接いただくことがあり、研修部としては最大の喜びであった。会員には、自ら研修部員となって、より積極的に研修企画に携わっていただきたいと考える。会場、あるいは会場情報の提供にもぜひご協力いただきたい。

3. 部員

部長：中村 雅子（大阪府立母子保健総合医療センター）

部員：神山 貴子（京都桂病院）
藤原 純子（洛和会音羽病院）
田中 律子（大阪滋慶学園）
林 伴子（社会保険神戸中央病院）
高橋 育子（姫路聖マリア病院）

I-1-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌26巻4号および27巻1、2、3号を発行。
配布部数：229部（会員127、講読会員76、交換・寄贈26）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

26巻（2006年）

4号（発行 2007年 5月 43頁）

特集：はじめての図書館員へ

病院図書館のマネジメント

「病院図書室」における資料の受入

貸出、返却、催促など基本的な図書室のルールについて

文献入手の可能性を広げよう—病院図書館における相互貸借—

27巻（2007年）

1号（発行 2007年 8月 50頁）

特集：デジタル図書館

Ovid a Wolters Kluwer businessの病院向けパッケージ

オンライン全文データベースとEBM二次情報検索ツール

「今日の診療WEB版 法人サービス」について

EBM (Evidence-Based Medicine) : オンライン製品の紹介

国内医歯薬看護学医療技術系ジャーナル論文配信サイト Medical*Online

2号（発行2007年12月 60頁および別冊会員名簿 19頁）

特集：総会・事例報告会（第113回研修会）

臨床研修指定病院図書館（室）の蔵書構築—蔵書構築研究班1年目の報告—

国外における一般市民への医学情報提供の
現状（文献的考察）—医学図書館による公
立図書館および利用者への活動—（抄録）
図書館員の専門性に関する文献研究
Kinki Webcat 一目録サポートチームから
の紹介—

病院における仮想患者図書館をさぐる一事
例を参考に—

解説：食事療法と薬物療法の葛藤—エビデ
ンスはどちらにあるか？

3号（発行2008年 3月 59頁）

特集：Re-Library

本の修理と保存について

藤原孝先生の製本講座—継続雑誌のかがり

綴じによる合本製本—

自分でできる本のメンテナンス

ブックカバー製品紹介と方法

製本工場見学会に参加して

雑誌製本に関するアンケート集計結果

(2) シリーズ掲載

「いますぐ役立つホームページ」

23. ものの数え方 (Vol.27 No.1)

24. 亀田 1ページで読める感染症ガイド
ライン (Vol.27 No.3)

「電子資料解題」

5. UpToDate (Vol.26 No.4)

「図書館員のツボ」

1. インパクトファクター (Vol.26 No.4)

2. 論文の種類について (Vol.27 No.1)

3. 電子ジャーナル (Vol.27 No.2)

4. 画像ファイル形式について (Vol.27 No.3)

「ちょっとこぼれ話」

18. (Vol.26 No.4)

19. (Vol.27 No.1)

20. (Vol.27 No.2)

21. (Vol.27 No.3)

(3) 掲載広告各社

サンメディア

科学技術振興機構

ユサコ

医学中央雑誌刊行会

ベルブック

丸善

ナカバヤシ

南江堂

(4) 編集会議

第1回 2007年 5月12日（土）茨木 5名

第2回 2007年10月23日（火）茨木 5名

第3回 2008年 1月19日（土）茨木 5名

2. 今年度総括

会誌発行のペースが遅れてきている。少人数
ではあるが、今後も緻密な原稿チェックやそれ
に伴う著者との緊密なやりとりなど編集作業の
レベルを維持しつつ、がんばっていきたい。

今年度は、会誌をメディカルオンラインに登
録した。電子化されたのは著作権が譲渡されて
いる「病院図書館」20巻以降で、特集や解説以
外に巻頭言や「いますぐ役立つホームページ」
「電子資料解題」「図書館員のツボ」「ちょっ
とこぼれ話」といった連載記事も電子化されて
いる。今後さらに会誌「病院図書館」が広く浸透
することが期待される。

また会誌購読以外のバックナンバーや発行図
書の販売について、今年度から外部の書店に委
託を始めた。

会員のための協議会会誌であるとの編集方針
から、今年度も会員の図書館員には積極的に原
稿を依頼した。また昨年までの連載「図書館の
小物たち」につづき、今年から「図書館員のツ
ボ」が始まった。ともに会誌編集部で内容を話
し合い、執筆を担当する連載で、協議会の部活
動が非常に有益な研修の場になっていることを
実感している。今後さらなる会員の参加がのぞ
まれる。

3. 部員

部長：増田 徹（藍野大学）

部員：井上智奈美（三菱京都病院）

寺澤 裕子（関西労災病院）

松尾 知香（石切生喜病院）

若杉 亜矢（松下記念病院）

I-1-3. 統計調査部

今年度の統計調査は、平成18年度の会員図書館の実情について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は簡易調査の年にあたり、年度統計調査のみを行った。

1. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：平成18年度（2006年4月1日～2007年3月31日）
- b. 調査対象：全会員126会員中、賛助会員を除く123会員に依頼
- c. 調査項目：年度統計
- d. 作業経過：

2007年10月 9日 調査用紙を各施設へ発送
ホームページに統計調査
発送の告知と回答依頼

2007年10月末日 回答締切日

2007年11月 未回答施設へ回答依頼

2007年11月末日 回答最終締切り

2008年 3月 統計調査報告書発送

e. 回答施設：87施設（1/31現在の回答率70.7%）

2. 文献の相互利用—平成18年度協議会全体での件数—（2008年1月31日）

—相互貸借依頼—（87施設）

協議会会員	7,116	(16.7%)
会員以外の病院	4,745	(11.1%)
大学図書館	14,534	(34.0%)
文献手配業者	8,169	(19.1%)
国立国会図書館	463	(1.1%)
その他の機関	1,889	(4.4%)
依頼先不明	5,820	(13.6%)
合計	42,736	(100.0%)

—相互貸借受付—（87施設）

協議会会員	6,906	(47.6%)
上記以外の病院	5,092	(35.1%)
その他の機関	113	(0.8%)
依頼先不明	2,396	(16.5%)
合計	14,507	(100.0%)

3. 経費

支出：

調査用紙コピー代
3,690円（@10円×3枚×123部）

依頼状発送費
9,840円（@80円×123通）

報告書コピー代
22,680円（@10円×18枚×126部）

報告書発送費
10,080円（@80円×126通）

業務委託費
19,200円（@800円×8時間×3日間）

I-1-4. ホームページワーキンググループ

1. 活動報告

2007年 4月 レンタルサーバ業者の選定、見積もり

2007年 8月 株式会社ムーブ／ムーブネットワークサービスへ運用を依頼

2007年10月10日 独自ドメインサーバ登録・新規メールアドレス設定完了

2007年11月14日～15日 旧サーバから新サーバへの移行、掲示板利用休止

2007年11月16日 ホームページのリニューアル、新サーバ運用開始

2. 経費

支出：サーバ構築・設定初期費用 52,500円

ランニング費用（エコノミーコース／CGI利用） 5,250円／月 63,000円

ドメイン取得費用 5,040円

ドメイン取得事務手数料 3,150円

既存コンテンツ、バックアップ作業料、CGI動作確認、技術サポート料 5,250円

3. 今年度総括

ホームページの運営を見直すにあたり、業者との契約を密に行う必要が生じたため、2007年8月より新業者へレンタルサーバの運用を依頼した。旧業者から新業者の移行に伴いドメインを新たに取得する必要が生じたため、ホームページのアドレスと各部のメールアドレスが下

記のとおり変更になった。

新業者へと契約を変更したことにより、技術的なサポートへの迅速な対応が可能になった。新アドレスのホームページからは、「Microsoft Publisher2003」を使用し作業の効率化を図ったが、細かな調整に対応しにくいという難点が生じたため、来年度からは「IBMホームページビルダー12」を導入し、さらに使いやすく・便利なホームページを目指す。

新アドレス：<http://www.hosplib.info/>

事務局：khla@hosplib.info

編集部：journal@hosplib.info

研修部：edu@hosplib.info

ホームページワーキンググループ：
info@hosplib.info

4. 部員

佐藤 道子（兵庫県立光風病院）

I-1-5. 目録サポートチーム

1. 概要

近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録Web版（通称：Kinki Webcat）

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

2007年5月現在

登録機関数：124機関

登録タイトル数：3,450タイトル

所蔵レコード数：23,357レコード

2. 今年度総括

近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録Web版の正式稼働から1年が経過し、書誌データおよび各会員機関の所蔵データの整備が徐々に進んでいる。Kinki Webcatロゴを作成し、活用している。2007年8月に、Kinki Webcatのデータ公開およびリンク方針の申し合わせ、各機関データの確認依頼、Kinki Webcat利用アンケートおよびログインパスワードの変更希望受付を各会員へ送付した。同様の働きかけを今後も年1回程度継続して行い、会員のKinki Webcatの有効利

用を促していきたい。

3. 部員

部長：春日井泉江（豊橋市民病院）

部員：川野 眞樹（京都第二赤十字病院）

高須賀京子（松山市民病院）

林 伴子（社会保険神戸中央病院）

藤原 純子（洛和会音羽病院）

I-2-1. 幹事会

今年度は4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第1回 2007年 4月19日（木）

大阪労災病院 8名

第2回 2007年 7月26日（木）

藍野大学 8名

第3回 2007年10月17日（水）

社会保険神戸中央病院 9名

第4回 2008年 1月24日（木）

大阪労災病院 9名

I-2-2. 役員会

2008年2月14日、社会保険神戸中央病院において平成19年度役員会が開催された。役員会資料（平成19年度議案書草案）に沿って議事進行し、平成19年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成20年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成20年度会長については西尾晃現会長（社会保険神戸中央病院）が再選された。また、事務局長には林伴子現事務局長（社会保険神戸中央病院）が再選された。

会則に則り、それぞれ今年度の第34回総会に諮ることになった。

I-2-3. 会員の状況

会員数：126機関（会員123、賛助会員3）

（2008年2月現在）

入会：4機関（神戸赤十字病院、市立吹田市

民病院、大阪府済生会千里病院、株式会社サンメディア)

退 会：3機関 (高山赤十字病院、市立舞鶴市民病院、和歌山労災病院)

I-2-4. 対外交流

日本医学図書館協会の第78回総会 (2007/06/01 大宮ソニックシティ) へ個人会員の山室真知子氏が参加した (当協議会からの派遣)。研修会・分科会へは幹事の春日井泉江氏が参加した。総会へは会員以外の参加ができないため、今後も交流の機会を持つためには、会員の中の医学図書館協会個人会員の協力を得る必要があるであろう。

第92回近畿地区医学図書館協議会例会 (2007/05/22滋賀医科大学) へは事務局長の林伴子氏が出席した。

2007年 (平成19年) 度NPO日本医学図書館協会 近畿地区会 / 日本薬学図書館協議会 近畿・中国・四国地区会 / 近畿病院図書館協議会 共催シンポジウムは、研修部員の中村雅子氏、藤原純子氏が実行委員として加わり、開催へ向けて協力した。

ライフサイエンス系医学図書館団体ワーキンググループの協力員として幹事の若杉亜矢氏を当協議会より派遣し、会議などに出席し、作業にあたった。

議案II. 平成19年度会計・監査報告

(収入の部)

単位 円

予 算		決 算	
費 目	金 額	費 目	金 額
前年度繰越金	1,194,057	前年度繰越金	1,194,057
会費	4,170,000	会費	3,600,000
平成19年度		平成19年度	
@30,000×123	3,690,000	@30,000×114	3,420,000
@50,000×2	100,000	@50,000×3	150,000
新入会@40,000×2	80,000	入会金@10,000×3	30,000
平成17・18年度未納			
@30,000×10	300,000		
事業収入	918,900	事業収入	800,700
会誌購読費		会誌購読費	
平成19年度		平成19年度	
@6,000×75	450,000	@6,000×61	366,000
未納		@3,000×1	3,000
@5,700×16	210,900	未納	
@6,000×43	258,000	@5,700×19	108,300
		@6,000×42	252,000
		書籍売上	50,400
		研修会参加費	
		113回研修会; 事例報告会	19,000
		会員外参加費	2,000
その他		利息	346
広告掲載料			
25巻	327,000		
26巻	330,000		
計	6,939,957	計	5,595,103

(支出の部)

単位 円

予 算		決 算		
費 目	金 額	費 目	金 額	備 考
総会費	150,000	総会費	134,370	総会会場費、講師料、他
業務委託費	100,000	業務委託費	23,466	発送作業、入力作業
事務費	100,000	事務費	58,510	事務用品(封筒、ゴム印、他)
通信費	150,000	通信費	85,500	請求書発送、各種連絡、等
交通費	200,000	交通費	172,080	
事業費	5,610,000	事業費	3,694,276	
会誌発行費	3,900,000	会誌発行費	2,276,538	会誌26(4)、27(1-2)印刷発行経費(執筆謝礼、他)
研修会費	400,000	研修会費	333,243	定例研修会、勉強会(資料費、開催経費)
目録サポート	600,000	目録サポート	538,475	web版構築・サポート料金、他
webワーキング	100,000	webワーキング	136,445	サーバ変更手数料、等
研究援助	400,000	研究援助	300,000	活動経費
統計調査	60,000	統計調査	109,575	平成17・18年度分
その他の事業	150,000			
対外活動費	250,000	対外活動費	82,660	JMLA総会派遣費、他
資料費	50,000	資料費	20,916	雑誌購読料
資料管理費	70,000			
会議費	100,000	会議費	28,416	幹事会・各部会、他
予備費	100,000	予備費		
雑費	59,957	雑費	24,150	記念品
計	6,939,957	計	4,324,344	

平成19年度 会計監査

決算(収入)		決算(支出)		単位 円
費目	金額	費目	金額	
前年度繰越金	1,194,057	総会費	134,370	
会費	3,600,000	業務委託費	23,466	
		事務費	58,510	
		通信費	85,500	
		交通費	172,080	
事業収入	800,700	事業費	3,694,276	
会誌購読費	729,300	会誌発行費	2,276,538	
平成19年度		研修会費	333,243	
		目録サポート	538,475	
書籍売上	50,400	webワーキング	136,445	
研修会参加費		研究援助	300,000	
113回研修会;事例報告	19,000	統計調査	109,575	
会員外参加費	2,000	対外活動費	82,660	
		資料費	20,916	
利息	346	会費	28,416	
		雑費	24,150	
計	5,595,103	計	4,324,344	

上記決算については、会計監査を終了しました。
平成19年3月15日

川野真樹 (印)

武田真由美 (印)

議案Ⅲ. 平成20年度活動方針

昨年同様、病院図書館を取り巻く状況の厳しさに変わりはない。最近では医療界全体の厳しい状況がメディアにも取り上げられるようになってきた。そんな中で、図書館が図書館として機能するためには、担当者がスキルアップし、利用者へ存在感をアピールしていくことが大切ではないだろうか。

当協議会では、従来、医療情報を担うエキスパートを養成することが期待されていると考え、専門知識の習得に研修会、会誌上などの研修活動で取り組んできた。今後も担当者の能力向上を目指すことが活動方針の基本と考える。

さて、今年度は新幹事2名を迎えたが、事業を分担するには十分な数とはいえなかった。しかし、Kinki Webcatに対してのサポート活動や、

懸案事項であったホームページのリニューアルなどには取り組むことができた。サーバの変更など、徐々に作業を進めてきたが、見やすさ、使いやすさ、情報の豊かさなど今後もよりよいものを作り出すことを目指していく。

幹事のあり方については先年より検討課題であるが、見直しの基礎資料としてのアンケート調査は今年度も実現できなかった。協議会事業の継続、発展のためには今以上に人材を必要としている。円滑な協議会運営のためには会員の協力が不可欠である。徐々にではあるが、部員としての協力要請に応じてくれる担当者も出てきている。しかし、必要とする人員に至っていないのは同じである。この状態を打破するためにも、来年度こそは現状の把握と、今後の協力体制のあり方についての意見収集を目的としたアンケートの実施を実現し、今一度、会員の責務を考えていただき、さらなる協力をお願いしたい。

また、幹事の選出方法(一部会員への負担を減らす試みとして任期制、当番制、地区代表制など)、事務局の役割なども含めて、機関加盟の利点を生かした運営方法の検討をさらに加えていきたい。

Kinki Webcatのメンテナンスの作業は順調に進んでいるが、書誌情報などまだまだ修正箇所が残っている。今後も各会員の協力の下、作業を継続していく予定である。

また、当協議会所蔵資料は、Kinki Webcatへの登録など、整理作業を徐々に行っているが、来年度は冊子体で保管している「学術雑誌総合目録」の廃棄作業を行うことにする。

今年度から機関情報変更届を新たに作成したので、Kinki Webcatからの情報と併せて各機関の最新情報が入手できるようになった。今後も正確な機関情報管理に努めたい。

平成18年度より研究助成金制度を開始したが、今年度の応募は継続研究のみであった。この事業は継続し、来年度も年10万円、3年の更新を可として新規・継続の研究助成金の申請を

募集することにする。

その他、研修活動としては、従来の研修会以外に日常業務だけでなく、数年かけてでも段階的に実践能力を高めることができるような勉強会や、今年度好評であった夜間勉強会など多彩な企画を提出していきたい。

また、研修会、特に総会への出席の促進を図るため、一定の条件の下、交通費などの助成を検討し、実現をはかりたい。

会誌については20巻からの公開を行ったが、それ以前の発行分についても、前身の「病院図書館室」また、協議会会報時代の資料など、徐々に電子化して保存に努めたい。公開するには著作権の帰属など、解決すべき問題は多くあるが、今年度は電子化についての情報収集に努め、順次作業にあたりたい。

対外交流については、従来どおり、他の図書館ネットワークとの緊密な交流を図っていくが、各団体の研修会などへの参加については、報告義務などの条件を定めた上で助成を行うことで会員へ働きかけていきたい。

以上を総括して、来年度の当協議会活動では必要な継続事業を進めつつ新たな事業・目標を模索し、対外的にも広く協力活動を行い、運営・事業活動については新旧世代の交代を円滑に図っていくことを課題とする。

議案Ⅳ．平成20年度事業計画

1. 医学文献情報活動

- 医学雑誌現行情報の収集と目録のメンテナンス

2. 教育研修活動

- 研修会（セミナー形式）・勉強会の開催
- 関連団体の研究研修会への案内と参加奨励
- 研究助成金制度の継続
- 総会・研修会参加助成制度の確立

3. 出版広報活動

- 会誌「病院図書館」の季刊発行

- ホームページの継続と内容更新

- 会誌・会報バックナンバーの電子化保存

4. 年次統計等の調査活動

- 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- 関連団体との交流・連携

議案Ⅴ．平成20年度予算

(収入の部)

(支出の部)

単位 円

費目	金額	費目	金額	摘要
前年度繰越金	1,270,759	総会費	150,000	選挙費用、議案書作成費用、特別講師謝礼・交通費 会費請求、他
会費	4,410,000	業務委託費	50,000	
平成20年度		事務費	50,000	事務局・銀行手数料、他
@30,000×123	3,690,000	通信費	100,000	事務局・各部会連絡 会員通知他
@50,000×3	150,000	交通費	220,000	役員会、幹事会、各部会、 JMLA近畿地区例会、他
平成17～18 年度未納		事業費	5,960,000	
@30,000×19	570,000	会誌発行費	4,350,000	会誌27(3-4)、28(1-4) (@70万、諸経費を含む) バックナンバー電子化費用 定例研修会、事例報告 会、勉強会
事業収入	504,000	研修会費	400,000	総合目録web版 活動経費
会誌購読会費		目録サポート	600,000	
平成20年度		webワーキング	100,000	
@6,000×75	420,000	研究奨励	300,000	
未納		統計調査	60,000	2007年度報告書送料 2008年度調査報告経費
@6,000×14	84,000	その他の事業	150,000	
その他		対外活動費	250,000	JMLA総会派遣費、他
広告掲載料		資料費	50,000	雑誌購読料、他
25巻	327,000	資料管理費	90,000	病室協所蔵資料 (2006-2007年分請求未)
26巻	330,000	会誌費	50,000	会場使用料、他
27巻	330,000	予備費	150,000	
		雑費	51,759	庶務費、接遇費
計	7,121,759	計	7,121,759	

注：平成19年度は会誌広告料金の徴収が残ってしまったが、総会までには請求書の発行を済ませている予定である。

また、会誌の発行費については議案書予算作成時には26巻3号が未発行となっているため6号分の発行予算となっている。

業務委託については平成19年度中に条件のあう業者を探せなかった。事務局での発送業務などの業務委託は昨年同様臨時委託のみとする。また、各部でのデータ入力、発送作業などの業務委託費は各部の経費に含むものとする。

会報・会誌のバックナンバーの電子化作業費は会誌発行費に含む。

2008年度の研究助成金は一件あたり10万を上限として、昨年同様予算計上する。